

令和3年第2回定例会9月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議については、原則マスクを着用し、換気等の措置を実施の上行いますので、ご理解とご協力をお願いします。
風邪症状（熱、咳、くしゃみ、鼻水等）のある人は、傍聴をご遠慮願います。

発 言 順 位

9月14日（火）

- | | | | | |
|-----|-----|-----|--------------|-----------|
| (1) | 梅 田 | 宏 希 | 議員（公 明 党） | …………… P 2 |
| (2) | 林 | 丸 美 | 〃（明石かがやきネット） | …………… P 4 |
| (3) | 林 | 健 太 | 〃（自民党 真誠会） | …………… P 5 |
| (4) | 松 井 | 久美子 | 〃（公 明 党） | …………… P 6 |
| (5) | 吉 田 | 秀 夫 | 〃（明石かがやきネット） | …………… P 7 |
| (6) | 穂 原 | 成 人 | 〃（自民党 真誠会） | …………… P 9 |

9月15日（水）

- | | | | | |
|------|-----|-----|--------------|------------|
| (7) | 飯 田 | 伸 子 | 議員（公 明 党） | …………… P 10 |
| (8) | 石 井 | 宏 法 | 〃（自民党 真誠会） | …………… P 11 |
| (9) | 千 住 | 啓 介 | 〃（自民党 真誠会） | …………… P 12 |
| (10) | 寺 井 | 吉 広 | 〃（自民党 真誠会） | …………… P 13 |
| (11) | 楠 本 | 美 紀 | 〃（日 本 共 産 党） | …………… P 14 |

9月16日（木）

- | | | | | |
|------|-----|-----|--------------|------------|
| (12) | 森 | 勝 子 | 議員（維 新 の 会） | …………… P 16 |
| (13) | 家根谷 | 敦 子 | 〃（スマイル会） | …………… P 17 |
| (14) | 丸 谷 | 聡 子 | 〃（かけはしSDGs） | …………… P 18 |
| (15) | 辻 本 | 達 也 | 〃（日 本 共 産 党） | …………… P 20 |
| (16) | 北 川 | 貴 則 | 〃（維 新 の 会） | …………… P 21 |

※ 順位については予定です。

令和3年第2回定例会9月議会発言通告一覧表

発言順位	1	議員名	梅田 宏希(公明党)
発 言 事 項	1	<p>議案第82号 令和2年度明石市一般会計歳入歳出決算について</p>	
	(1)	<p>ふるさと納税寄附金について (要旨) 令和2年度の評価と令和3年度の目標設定の根拠を聞く。 また、令和2年度の市民が選択した寄附金の使い道8項目の項目別の寄附額と支出の実績についてお答えください。</p>	
	(2)	<p>新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金の積立方法について (要旨) 令和2年度主要施策の成果報告書に記載されている基金の積立方法について、あかし支え合い基金条例で規定している方法と整合性がないように見受けられる。条例にのっとった会計処理をしなかったことについて見解をお答えください。</p>	
	2	<p>新型コロナウイルス感染症対策について</p>	
	(1)	<p>妊婦や教職員等へのワクチン優先接種について (要旨) 妊婦感染者の不幸な事故が報道された。妊婦の感染、学校・幼稚園・保育園等での集団感染による危機意識から、優先接種の要望が多く寄せられている。本市の対応についてお答えください。</p>	
	(2)	<p>若者へのワクチン接種に係る情報発信と接種会場について (要旨) 報道では若者の接種が伸び悩んでいるとされている。若者への正確な情報発信をどのようにするのか。また、接種の利便性向上のために集団接種を再開すべきである。見解をお答えください。</p>	
	(3)	<p>自宅療養者と入院待機者への支援体制について (要旨) 感染拡大により、入院できない感染者が急増し、自宅療養におけるリスクへの不安が多く寄せられている。本市の支援体制についてお答えください。</p>	
	(4)	<p>抗体カクテル療法とネーザルハイフロー療法の拡充について (要旨) 軽症患者や中等症患者に対して治療効果の高い、新しい治療法が実施されている。本市もできることから早期に実施すべきと考えるが、見解をお答えください。</p>	
	3	<p>带状疱疹ワクチン接種費用助成制度について</p>	
	(1)	<p>市の带状疱疹患者の実態と対応について (要旨) コロナ禍の閉塞した生活の中で、带状疱疹を発症して苦しんでいるとの声を多く聞いている。成人の9割が原因ウイルスを持っており、発症した50歳以上の2割に後遺症があると言われている。本市の実態と対応についてお答えください。</p>	

発言順位	1	議員名	梅田 宏希(公明党)
発 言 事 項	<p>(2) 予防接種費用助成制度の導入について (要旨) 平成30年3月に、乾燥組換え帯状疱疹ワクチンが薬事承認されたが、接種費用が高額のため助成を望む声が寄せられている。市民の健康を守るために助成制度を導入すべきと考える。見解をお答えください。</p> <p>4 各種証明書のコンビニ交付サービスについて</p> <p>(1) コンビニ交付サービスの実施時期について (要旨) 県下29市の中で、本市のみが実施時期について明確にしている。各種証明書をいつでも、どこでも、すぐに、取得できるという全市民を対象にした行政サービスであり、市の事務処理面でも大きなメリットがある。</p> <p>本市でのシステム導入について、パッケージシステムへの移行のタイミングに合わせて交付サービスを早期に導入するべきと考えるが、見解をお答えください。</p>		

発言順位	2	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p>1 令和2年度明石市一般会計決算について</p> <p>(1) 本市の財政状況について (要旨) 経常収支比率は94.2%で、前年度に比べ0.3ポイント改善しているが、一方で財政力指数と基金残高比率は悪化している。本市財政の硬直化が進んでいないか、見解を問う。</p> <p>(2) 扶助費の増加について (要旨) 扶助費は年々増加し、特にこの5年間で83億円増加しており、幼保給付費、障害福祉費の伸びが顕著である。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による医療や福祉サービスの利用の低下に伴い、これらに係る扶助費は減少しているが、コロナ収束後は、再び増加すると考えられる。今後も確実に増え続けるであろう扶助費について、見解を問う。</p> <p>(3) 市税収入の減少について (要旨) 新型コロナウイルス感染症の影響により、法人市民税・固定資産税収入が減少しており、不納欠損額・収入未済額も増加している。今後も納税が困難な方への徴収猶予等の対応が必要である一方、納税者間の公平性を保つことも重要である。見解を問う。</p> <p>2 安心・安全な学校給食について</p> <p>(1) 有機野菜を使用した学校給食について (要旨) 有機JAS規格の認証を受け、有機農業に取り組む農家が本市にもおられる。オーガニック給食の実現に向けて段階的な取組を望むが、見解を問う。</p> <p>(2) 残留農薬検査について (要旨) 学校給食の安全の根拠となる残留農薬検査について、検査項目が不十分ではないかという専門家の指摘がある。検討の必要があると考えるが、見解を問う。</p>		

発言順位	3	議員名	林 健 太 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	1 令和2年度決算内容及び基金について		
	(1) 実質収支黒字化と基金増加の要因について (要旨) コロナ禍の決算において、一般会計実質収支が約17億円の黒字、基金現在高が約110億円から約112億円に増加しているが、その要因を問う。		
	(2) 土地売払収入について (要旨) 土地売払収入については、インフラを含む公共施設の今後の維持管理に充てる必要があると考えるが、市の見解を問う。		
2 長期総合計画について			
(1) 第5次長期総合計画の延長手続きについて (要旨) 第5次長期総合計画が議決なく延長されているが、この延長は明石市議会の議決すべき事項等に関する条例第2条に規定されている市の総合計画の変更に当たるのではないかと、市の見解を問う。			
(2) 第6次長期総合計画策定の進捗状況について (要旨) 現在、策定が延期されている第6次長期総合計画について、策定期間を含めた現状を問う。			
3 新型コロナウイルス感染症対策について			
(1) 感染状況及び感染者への対応について (要旨) 第5波により感染者数が増大する中、本市の感染状況及び感染者への対応を問う。			
(2) ワクチンの接種状況について (要旨) 6月7日の市長記者会見では、希望する全市民に対し新型コロナウイルスワクチンの2回接種を9月中に終わると発表されたが、実際は県内の他自治体の接種状況と比較しても進んでいるとは言えない。本市の現状と今後の接種計画を問う。			

発言順位	4	議員名	松井 久美子 (公明党)
発言事項	<p>1 明石市のDX推進について</p> <p>(1) 本市のDX推進方針の策定について (要旨) 9月1日のデジタル庁の発足に伴い、行政の効率化やサービス向上につながるデジタル改革がスタートしたことから、本市のDX推進方針の策定について問う。</p> <p>(2) 第6次長期総合計画（あかしSDGs推進計画）へのDX推進方針の明記について (要旨) 現在策定中の第6次長期総合計画（あかしSDGs推進計画）に、国の方針と整合性を取りながら本市のDX推進方針を明記すべきである。</p> <p>(3) 令和4年度DX化に向けた予算編成と組織体制について (要旨) 国からは、地域社会全体のデジタル化を進めるため、令和3年度及び令和4年度限りで「地域デジタル社会推進費」として2,000億円が地方交付税措置されることとなっている。本市において、令和4年度DX化に向けた予算編成と組織体制に取り組まないとDX推進が遅れると考えるが、市の考えを聞く。</p> <p>(4) デジタル人材の確保と職員研修について (要旨) DX推進のCIO（最高情報責任者）を支えるCIO補佐官には専門的知見のある人材が求められることから、早急な人材確保と職員研修が必要である。</p> <p>2 明石市における女性のデジタル人材の育成について</p> <p>(1) 女性のデジタル人材の育成による新たな就労機会の創出を。 (要旨) 経済産業省「DXレポート」によると、2025年までに43万人のIT人材が不足すると言われている。一方では、コロナ禍の影響で失業者が増加していることから、女性のデジタル人材育成による就労機会の創出が可能と考える。</p> <p>(2) 人材育成を契機とした地域における女性活躍推進・課題解決について (要旨) 将来の不安や解雇等に直面する女性、子育て中で思うように働けない女性を官民連携で支援するために、国の地域女性活躍推進交付金を活用し、地域における女性活躍推進・課題解決に向けた取組が重要である。</p>		

発言順位	5	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発言事項	1 新型コロナウイルス感染症対策について		
	<p>(1) ワクチン接種の遅れについて (要旨) 県内の他自治体と比較して、本市のワクチン接種のスピードは遅いと思われるが、その原因と今後の取組についてお聞かせください。</p> <p>(2) 臨時大規模病床施設の確保について (要旨) 新型コロナウイルス感染症は、収束どころか感染の波が来るとピークは倍増し、感染者数が増加している。日本医師会は、体育館やドーム型の運動施設を臨時的医療施設として活用し、集中的に医療を提供する場所を確保することを提案している。その必要性についての認識をお聞かせください。</p> <p>(3) コロナ禍における学校運営について (要旨) 夏休みが終わり、新学期が始まったことにより、学校でのさらなる感染拡大が懸念され、保護者・児童生徒・教職員から不安の声が上がっている。県下でも夏休みの延長や9月を短縮授業にした自治体がある。休校や短縮授業、リモート授業、クラブ活動、各種行事について、どのように運営していくのか、お聞かせください。</p> <p>(4) ワクチンの優先接種と接種体制の充実について (要旨) 保育施設・幼稚園・学校・放課後児童クラブなど、子供と対面する業務の従事者について、希望する全ての人への優先接種が必要と考える。 また、現在は医療機関での個別接種となっているが、これでは一日に接種できる件数に限りがある。若年層の感染拡大が顕著になっている中、接種を希望する市民の方に一日も早く接種を受けていただくため、高齢者接種時と同様に、集団接種会場を設け、接種体制を充実させるべきである。</p>		
2 地方公務員の定年年齢の引上げについて			
<p>(1) 職員の定年年齢の引上げについて (要旨) 国に遅れることなく実施すべきと考えるが、認識をお聞かせください。</p> <p>(2) 対象者への情報提供と意向確認について (要旨) 対象者が60歳を迎える前年度である2022年度中には、必要な情報提供と意向確認を行う必要がある。定年年齢の引上げには条例改正が必要となるが、対象者への十分な情報提供と意向確認に要する期間を踏まえた今後のスケジュールをお聞かせください。</p>			

発言順位	5	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>(3) 職員の定年年齢の引上げと新規採用について (要旨) 定年年齢の引上げを段階的に行う期間中、2年に1度退職者が 出ない年が生じます。組織の硬直化を防ぐためには、新規採用者 を継続的に一定数確保することが必要であると考えます。認識を お聞かせください。</p> <p>(4) 役職定年制等について (要旨) 役職定年の対象範囲、役職定年の例外として特例任用の対象と なる職について、また、現在市が行っている一部職員の定年延長 の今後の運用について、考え方をお聞かせください。</p> <p>(5) 再任用職員の処遇改善について (要旨) 定年年齢の引上げに伴い、再任用職員の抜本的な処遇改善が必 要であると考えますが、認識をお聞かせください。</p>		
	<p>3 消防体制について</p> <p>(1) 消防職員の増員について (要旨) コロナ禍でも明らかになったように、医療・救急体制は、有事 の際、いざというときには、まさに市民の命を守るとりでの 役割を果たします。今9月議会において消防職員の定数を増員 する条例が提案されていますが、今後、具体的にどのような計画 で行うのか、お聞かせください。</p> <p>(2) 消防職員の段階的な定年年齢の引上げについて (要旨) 消防という職務の性質を踏まえ、職員が年齢を重ねても健康で 安心して働くことができる職場環境の整備に向けた取組を今後ど のように進めていくのか、考えをお聞かせください。</p>		

発言順位	6	議員名	穂原 成人 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 議案第73号 明石市旧優生保護法被害者等の尊厳回復及び支援に関する条例制定のことについて</p> <p>(1) 第2条 定義について (要旨) 旧優生保護法被害者等として定義づけしようとする「これらに準ずる者」とは、どのような方を想定しているのか問う。</p> <p>(2) 第5条 市民等の役割について (要旨) 市民等は支援に協力するよう努めるとしているが、努力を意味するもので強制力を持ったものではないのか問う。</p> <p>(3) 第9条 支援金の支給について (要旨) 市民の税金が原資となる支援金については、その目的を明確にする必要があるのではないか。また、国の施策との違いを問う。</p> <p>(4) 附則で示している経過措置について (要旨) 本条例施行前の7月に、国家賠償請求訴訟の原告に対し、明石市犯罪被害者等の支援に関する条例を適用し、40万円の支援金が給付されたと聞く。条例の趣旨に沿った対応であったのか問う。</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) コロナ禍における学校園の対策について (要旨) コロナ禍が2年近く続いている現在、新たな対策を行いながら市民生活を取り戻す必要があると考える。保護者に分かりやすい広報を行うべきではないか。</p> <p>(2) タブレット端末利用の現状と今後について (要旨) 導入に当たり高額な費用を投入した機器を最大限活用する施策が遅れているのではないか。</p> <p>(3) 個別徴収している諸費用について (要旨) 本来、学習に必要なとされる費用は、公費で賄うべきではないか。本市の教育予算拡充に向けた考えを聞く。</p>		

発言順位	7	議員名	飯田 伸子 (公明党)
発言事項	<p>1 流産や死産を経験した女性等への支援について</p> <p>(1) 流産や死産を経験した女性等への支援に対する認識について (要旨) 厚生労働省は、流産や死産を経験した女性への支援強化に乗り出しており、本年5月には、自治体に対し適切な支援施策を講じるよう通知を出している。本市の認識を問う。</p> <p>(2) 要支援者の情報把握や情報共有体制について (要旨) 要支援者に適切に支援を届けるためには、行政や医療機関等での情報の把握と共有が必要である。本市の現状と今後の取組について問う。</p> <p>(3) 相談体制の整備及び拡充について (要旨) 流産や死産を経験した女性の相談ニーズは高いとの調査結果がある。本市の相談体制の現状と今後の取組について問う。</p> <p>(4) 専門的な知識を持つ人材の育成について (要旨) 要支援者のニーズに寄り添った支援を提供するためには、専門的な知識を持った人材の育成が重要である。本市の現状と今後の取組について問う。</p> <p>2 女性の視点からの防災対策の推進について</p> <p>(1) 防災対策における女性参画について (要旨) 内閣府が令和2年5月に策定した「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」及び同年12月に策定した「第5次男女共同参画基本計画」を受けて、本市の防災対策における女性参画への認識と取組を問う。</p> <p>(2) 「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」を活用した具体的な取組について (要旨) 「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」には、7つの基本方針や段階ごとに取り組むべき事項が示されているが、これらを活用した本市の具体的な取組について問う。</p>		

発言順位	8	議員名	石井 宏法 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 ふるさと納税寄附金について</p> <p>(1) ふるさと納税寄附金の増加について (要旨) ふるさと納税寄附金が年々増加している要因について、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 寄附金募集の内容及び充当事業について (要旨) 寄附金が募集時の説明どおり該当事業に充当されているか不明瞭である。本市の見解を問う。</p>		

発言順位	9	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p>1 市民全員・飲食店サポート事業について</p> <p>(1) 市長専決処分について (要旨) 専決処分してまで事業の実施を急ぐ必要があったのか。専決処分した理由を聞く。 今回の専決処分は、二元代表制、議会制民主主義を無視した行為である。市の見解を聞く。</p> <p>(2) 事業の進捗状況について (要旨) 利用店舗の増加状況、サポート利用券の配布状況等の進捗を聞く。</p> <p>2 大久保北部遊休地の利活用について</p> <p>(1) 利活用の方向性について (要旨) 市の財産である遊休地を何としてでも有効的に活用すべきである。市の見解を聞く。</p> <p>3 議案第72号 明石市住民投票条例制定のことについて</p> <p>(1) 今、条例を提案する理由について (要旨) 今9月議会に提案した理由を聞く。市長の言う、いわゆる違憲状態であったにもかかわらず、今まで黙認してきた現状がある。なぜ、このタイミングなのか。もっと早い段階で提案し、しっかりと議論をするべきであったのではないか。市の見解を聞く。</p>		

発言順位	10	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 消防・救急並びに救助体制について</p> <p>(1) 消防・救急搬送体制について (要旨) 市民の生命と財産を守るためには、消防・救急搬送体制の強化が必要であると考え、市の認識を問う。</p> <p>(2) 消防組織内の新型コロナウイルス感染症予防対策について (要旨) 消防組織内の新型コロナウイルス感染症予防対策について問う。</p> <p>(3) 火災予防・予防救急について (要旨) 火災予防体制・予防救急体制の現状について問う。</p>		

発言順位	11	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>1 明石市旧優生保護法被害者等の尊厳回復及び支援に関する条例制定のことについて</p> <p>(1) 国において「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」が制定された。本市が独自で条例を制定する必要性はあるのか。</p> <p>(要旨) 国の法律と本市の条例はどう違うのか。国の過ちを市民の税金で埋め合わせるの正しいのかとの意見もあるが、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 支援金300万円の妥当性について</p> <p>(要旨) 国の一時金は320万円としている。本市が示した支援金300万円の根拠はどこにあるのかを聞く。</p> <p>(3) 周知はどのように行うのか。</p> <p>(要旨) 被害者の方への周知、理解促進のための市民への周知はどのように行うのか。</p> <p>(4) パブリックコメントが行われたが結果はどうだったのか。</p> <p>(要旨) 意見の内容はどのようなものだったのか、パブリックコメントに寄せられた意見は条例に反映されているのか。</p> <p>2 要介護4・5の方も利用できる場合がある特別障害者手当について</p> <p>(1) 要介護4・5の方に対する特別障害者手当制度の周知はどう行われたのか、利用は広がったのか。</p> <p>(要旨) 月額27,350円(2021年8月現在)が支給される特別障害者手当の受給要件を満たす要介護認定4・5の方は多いと思われるが、現状を聞く。</p> <p>(2) 支給要件の一つに在宅とあるが、自宅のほかに対象となる施設の種類はどのようなものがあるのか。</p> <p>(要旨) グループホーム、ショートステイ、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の利用者は対象となるのか。また、入院、老人保健施設、介護療養型医療施設の入所者で3か月以内の方も対象となるのかを聞く。</p>		

発言順位	11	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>3 大久保北部遊休地の利活用について</p> <p>(1) NEXCO西日本の大久保北部遊休地への土砂受入れ事業はなくなったが、今後どのような利活用を考えているのか。 (要旨) (仮称)あかしSDGs推進計画のまちづくりの方向性として「人にも自然にも地球にもやさしいまち」をうたい、施策展開の5つの柱の一つである「豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める」の展開の方向として自然環境の保全と活用が示されている。数少ない明石の自然を残すために活用するべきではないか。</p> <p>(2) 次の事業を展開するに当たってどれくらいの期間を要するのか。 (要旨) 課題の整理として、民地との境界の確定、環境調査、埋蔵文化財の調査などが上がっていたが、これらの解決にはどれくらいの時間がかかるのか。</p> <p>(3) 教育キャンプ場、市民農園を再開してはどうか。 (要旨) コロナ禍の中、人混みを避けて海や山、キャンプ場がにぎわっていると聞く。また、安心・安全な食材に関心が高まり、市民農園の利用者も増えていると聞く。過去に実施されていた教育キャンプ場、市民農園を再開してはどうか。</p>		

発言順位	12	議員名	森 勝子 (維新の会)
発言事項	<p>1 市民重視と専決処分について</p> <p>(1) 「市民全員・飲食店サポート事業」について (要旨) 市長は、市民重視の観点から専決処分を英断されましたが、泉市長の考える市民重視とは、一体何なのかをお聞かせください。</p> <p>(2) 専決処分について (要旨) 本来、二元代表制の下、議決を経て事業が実施されるものですが、本市では、今回、専決処分で「市民全員・飲食店サポート事業」が実施されることとなりました。現在、本事業は進行中ですが、事業の遂行を願います。市長の考える専決処分に対する思いをお聞かせください。</p> <p>2 コロナ禍から始まる県・市の新たな連携について</p> <p>(1) コロナ感染拡大防止策について (要旨) 重症者、自宅療養者が安心して医療を受けられるよう、第6波に向けても、これまでなかった手法として、ワクチン接種を希望する全市民のためのワクチン不足の解消策や野戦病院の設立などを、新しい兵庫県知事と共に模索し、市民の命を守るために奔走すべきではないかと考えますが、市の見解をお聞かせください。</p> <p>(2) 二重行政解消に向けた取組について (要旨) 本市の発展にはさらなる行政サービスの向上と無駄をなくした健全財政が不可欠です。例えば、市民病院と近隣の県立病院の協力があれば、より良いサービスができると考えます。そのほか、インフラ整備等にもさらなる改革ができると思います。将来的には新しい兵庫県知事と共に県と市の連携が必要かと考えますが、市の見解をお聞かせください。</p> <p>3 女性の社会進出について (ジェンダー平等)</p> <p>(1) 市職員の女性幹部登用について (要旨) 本市はSDGs未来安心都市を掲げております。まずはこの明石市役所から、ジェンダー平等の観点からも課長級以上に占める女性職員の割合をさらに引き上げることが重要だと考えますが、市の見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	13	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p>1 旧優生保護法被害者等支援条例について</p> <p>(1) 旧優生保護法被害者等支援条例について</p> <p>(要旨) 昭和23年から平成8年まで、旧優生保護法により障害者が子を産み育てる権利が奪われてきた。法律がなくなっても被害者の苦しみは消えない。</p> <p>本市でも苦しむ被害者は多数いると考えられるが、国からの支援は不十分である。条例制定に係るパブリックコメントの内容はどのようなものがあつたか。また、今後の支援に向けた市の考えをお尋ねしたい。</p>		

発言順位	14	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p>1 議案第72号 明石市住民投票条例制定のことについて</p> <p>(1) 9月議会に提案した理由、条例制定の目的について (要旨) なぜ、今なのか。誰のためにつくるのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 市民への説明や意見聴取について (要旨) 平成27年度に明石市住民投票条例検討委員会の答申どおりの内容についてパブリックコメントを行っているが、今回の条例案は重要事項が2点変更されている。変更するならば、まずは変更した内容について市民への説明や意見を聴く責任があると考えますが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 署名要件について (要旨) 署名要件は、住民投票条例検討委員会においても長時間にわたって十分な審議が行われ、6分の1ではハードルが高過ぎるとの判断から、委員が全員一致で8分の1という結論を出している。市民がいざというときに使える条例でないと意味がない。なぜ6分の1に変更したのか、市の見解を問う。</p> <p>(4) 住民投票条例検討委員会の答申の重みについて (要旨) 過去2回否決された条例案も、今回の案も、いずれも住民投票条例検討委員会の答申どおりの内容ではない。明石市住民投票条例検討委員会条例に基づき設置された検討委員会が出した答申の重みをどう考えているのか、市の認識を問う。</p> <p>2 地球温暖化対策として効果的な建築物の断熱などエネルギー消費性能向上の取組について</p> <p>(1) 建築物の断熱の推進について (要旨) 地球温暖化対策として、建築物のCO₂削減に効果的な検討順位は、断熱>気密>日射コントロール>換気>通風>設備>再エネ熱>再エネ電気である。今後は、ゼロエネルギーという考え方や断熱の推進を現在策定中の環境基本計画にも明記し、地球温暖化対策実行計画の柱に据えていくべきである。さらには、国の法改正に伴い、省エネ基準を強化する条例制定も必要ではないか、市の認識を問う。</p> <p>(2) 公共施設における断熱対策について (要旨) 既存施設の断熱改修を積極的に行うことに加え、新設する施設はゼロエネルギーを基本とし、全ての公共施設の建築物において断熱対策を講じるべきと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	14	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p>(3) 一般住宅におけるゼロエネルギー及び断熱の促進について (要旨) 市民への啓発はもとより、その促進のために、国のZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）導入費用助成などへの上乗せ助成や、消費エネルギー削減に有効な窓の断熱改修に対しての費用助成をしてはどうか。市の見解を問う。</p>		
	<p>3 資源ごみ（ペットボトル・アルミ缶）の有効活用について (1) ペットボトルの品質評価を高める取組について (要旨) 本市が資源ごみとして回収したペットボトルの落札単価が全国平均、近隣自治体より低いのはなぜか。汚れ等、品質評価の調査結果を踏まえ、改善する努力や工夫が必要ではないか。市の見解を問う。 (2) 資源ごみ（ペットボトル・アルミ缶）の売却収入について (要旨) 他の自治体と比べて本市の売却収入が少ないのはなぜか。今後、収入を上げるための努力や工夫が必要であると考え、市の見解を問う。</p>		
	<p>4 化学物質過敏症（香害）への対策について (1) 実態把握について (要旨) 「香害（こうがい）」とも言われる化学物質に過敏なために生活しづらい市民の声を聞いている。他の自治体では、学校に行けなくなった児童・生徒もいるようだが、本市の実態についてどのように把握し、対応しているのか、見解を問う。 (2) 市民の理解促進のための啓発や本市教職員への周知について (要旨) このたび、国から各自治体に啓発ポスターが配布されたが、どのような対応をしているのか。ホームページだけでなく、市独自の啓発ポスターやチラシを作成し、学校や公共施設で掲示、配布することや研修などを通して本市教職員への周知などが必要ではないか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	15	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 市民全員・飲食店サポート事業について</p> <p>(1) 市長の専決権行使に係る法律要件について (要旨) 見解を問う。</p> <p>(2) 当該専決処分の妥当性について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(3) サポート利用券の配達状況について (要旨) 進捗状況について問う。</p> <p>(4) 利用店舗等の新規登録状況について (要旨) 現在の状況を問う。</p> <p>2 議案第72号 明石市住民投票条例制定のことについて</p> <p>(1) 明石市自治基本条例との整合性について (要旨) 本案では、定住外国人を投票資格者に含んでいないが、明石市自治基本条例では「住民」を国籍によって分けていない。</p> <p>(2) 条例制定に向けて市長が述べた「あらゆる選択肢」について (要旨) 想定される選択肢について問う。</p> <p>3 JT跡地に隣接する土地に係る賃借権確認調停事件について</p> <p>(1) 調停の現在の状況について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) 相手方の主張について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(3) 今後について (要旨) 認識を問う。</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>(1) コロナ対応病床の確保に係る取組について (要旨) 進捗状況を問う。</p> <p>(2) 宿泊療養施設の対応について (要旨) 市としてどのように把握しているかを問う。</p> <p>(3) 宿泊療養施設を退所した後の患者のケアについて (要旨) 認識を問う。</p> <p>(4) ワクチン接種について (要旨) 遅れていることについての見解と今後の見通しについて問う。</p>		

発言順位	16	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p>1 コロナに負けない生活支援と福祉の充実について</p> <p>(1) 生活困窮者への支援の現状について (要旨) 新型コロナの脅威は拭えず、現在も緊急事態宣言下で、さらに深刻な経済損失を招いております。失業などで収入が減り、生活が苦しくなった方への対応は適切に行われているのでしょうか。現状及びこの間の取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 今後の支援策について (要旨) 長引くコロナ対策による疲弊、苦境を把握し、生活困窮を理由に命を絶つことがないように、施策のさらなる展開を望みます。健全財政が基本ですが、市民の生命・生活を守る支援策の今後の展開をお聞かせください。</p> <p>2 「安全なまち明石」の実現のための危機管理について</p> <p>(1) 南海トラフ巨大地震対策について (要旨) いつ起こってもおかしくないと言われている南海トラフ巨大地震に備えた市民の生命と財産を守る取組は不可欠です。認識と取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 水上バイクの危険運転の取締りについて (要旨) 明石の海岸で見られた水上バイクの危険運転は、海岸利用者の命に関わることで看過できません。泉市長が運転者を殺人未遂容疑などで刑事告発されたのは、事故を未然に防止するためです。危険運転をなくすための今後の取組をお聞かせください。</p> <p>3 住民投票条例の制定について</p> <p>(1) 住民発議の住民投票ができない現状と今後の取組について (要旨) 条例に基づき住民発議による住民投票ができない現状は異常で、市民の皆さんにとって不幸なことです。本市の見解をお聞かせください。</p>		